

西日本最大級の生産ラインを公開

中国木材(株)
郷原プレカット工場



中国木材株式会社（広島県呉市、堀川保幸社長）の
本社からほど近い郷原工場は西日本最大級の規模を誇
るプレカット工場として1995年に操業を開始。顧客
に専用CAD端末を貸与し、顧客が製作したデータを
元に加工データを作り、製材・プレカットを行い納品
するという顧客支援サービス「CADデポ」を展開し、
サービスの拡大と共に顧客を増やしてきた。

同工場はCAD/CAM化された全自動プレカットシ
ステムが導入されており、軸組構造材、羽柄材、パネ
ル材、金物工法のプレカット製品を、関西地方と中国
地方に供給。3万7900坪の敷地に4種の加工ライン
が設置されており、24時間操業で月産1万8000坪の
生産能力を持っている。工場内のオペレーションには

宮川工機株式会社（愛知県豊橋市、宮川嘉隆社長）の
生産支援システム「BRAIN 8」を2013年の5月に導
入。段階的にバージョンアップを進めており、今年の
8月にはネットワークの構築によるリモートアクセス
の開始した。

最新機種の導入で生産効率向上を図る

昨年末から入れ替えが進められている加工機の中
で特に目を引くのが全自動横架材加工機であるMPS-
VX05だ。これは中間加工機のMPS-15とMPS-15B、
木口加工機のMPS-24AとMPS-24B、多種加工機の
MPS-54で構成されている。加工可能な材寸は素材長



Aライン（右側）とBライン（左側）への分岐点



横架材中間加工機 MPS-15B